



東亜天文学会の山田義弘理事長の仲介で、太陽系の新たな小惑星が「Sendaiotsuna (川内大綱)」と命名されました。山田理事長がせんだい宇宙館の草水勉館長に命名を打診したのがきっかけ。小惑星の名前は人名や地名が多く、伝統行事が命名されることは、あまり例がないとのことです。

Satsuma sendai topics 13

「Sendaiotsuna(川内大綱)」新たな小惑星に命名



2月、近隣に商店などがなく、日常の買物に支障をきたしているゴールド集落や要望のある自治会を対象に、移動販売車で巡回するモデル事業を開始しました。現在、移動販売による食料品など(冷凍、冷蔵商品、日用品を含む400商品以上)の販売を行っています。*モデル事業のため川内地域に限定

Satsuma sendai topics 12

買物不便地域支援モデル事業 スタート



3月、県内の自治体で初めてコンビニでの証明書の交付が可能となりました。住民基本台帳カードを使用し、全国のマルチコピー機設置店舗で、住民票の写し、印鑑証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、所得課税証明書が取得できます。現在、セブン・イレブン、ローソン、サークルKサンクス、ファミリーマートの店舗での利用が可能です。

Satsuma sendai topics 15

鹿児島県内初のコンビニ店舗による住民票の写しなどの交付開始



上甕島の「長目の浜」は、3つの池と変化に富んだ海岸線から作り出される風光明媚な景勝地です。この美しい景観は、私たちの祖先から引き継がれた地域の宝です。地域住民だけでなく、市民・事業者など全ての人々が一体となり、未来へ引き継いでいくため、7月に景観法に基づく「準景観地区」として指定しました。

Satsuma sendai topics 14

「長目の浜」を景観法に基づく「準景観地区」に指定



エネルギーの作り方や使い方に着目して課題の解決策を提示した次世代エネルギービジョンと行動計画を3月に策定し、これらに基づく具体的な取り組みとして次の事業を行いました。甕島のエコアイランド化に向けた電気自動車レンタカーおよび超小型モビリティ導入実証事業の開始(8月)、スマートグリッド実証試験のための実験設備などの設置(10月)、総合運動公園防災機能強化事業に係る太陽光発電設備などの導入(12月)など。

Satsuma sendai topics 07

次世代エネルギービジョンを策定 さらなる取り組みを展開



4月、観光物産を振興することを目的に、市・川内商工会議所・薩摩川内市商工会の出資により、(株)薩摩川内市観光物産協会が設立しました。同社は、NPO法人薩摩川内市観光協会と薩摩川内市特産品協会を統合し、株式会社化したもの。観光振興や物産販売などの事業を積極的に展開し、薩摩川内市のファンの増加を図ります。

Satsuma sendai topics 06

(株)薩摩川内市観光物産協会設立



3月、地域密着型で本市の情報をリアルタイムできめ細かく伝えていく放送局「FMさつませんだい」が開局しました。イベント情報の提供や祭りの放送など地域に密着した放送を目指しています。同放送局と市は、災害関連情報について優先的に放送する「災害時における緊急連絡要請に関する協定」を締結しています。

Satsuma sendai topics 09

「コミュニティ放送局」FMさつませんだい開局



さつま町で処理していた入来・祁答院地域のごみと、甕島地域のクリーンセンターで処理していた甕島地域のごみの処理を、それぞれ4月と7月から川内クリーンセンターで開始しました。これにより甕島地域の同施設を休止し、市全域のごみの処理を一括で行うことになりました。

Satsuma sendai topics 08

市全域のごみを川内クリーンセンターで処理



第68回国民体育大会ホッケー競技成年男子で鹿児島チームが36年ぶりに優勝を果たしました。同チームは、13人全員が川薩清修館高校や旧樋脇高校のOB。日本代表を有する愛知県チームを2回戦で破りました。大雨のため決勝戦は中止となりましたが、同戦進出チームである京都チームと優勝を分け合いました。

Satsuma sendai topics 17

伝統の「樋脇ホッケー」で団体優勝



消防庁舎の建設に併せて、次の工事に着手しました。高機能消防指令センターと消防救急無線デジタル化の一体的な整備に向けた工事(3月)、防災研修センター施設(初期消火体験施設、暴風雨体験施設、地震体験施設、煙体験施設、119番通報体験施設)などの設置工事(9月)、大型消防車両などを活用した総合訓練をはじめ、自主防災組織や自衛消防隊などが訓練できる、訓練塔(主塔、副塔、補助塔)の工事(10月)。

Satsuma sendai topics 16

消防庁舎の機能強化のため各種工事に着手



平成26年に市制施行10周年を迎え、今後、さらなる市民の一体感醸成を加速するため、市民・地域・行政が一体となった花いっぱいまちづくりがスタートしました。10年間の計画を協議するため市民団体などで花いっぱいまちづくり推進協議会を設立しました。

Satsuma sendai topics 11

花いっぱいまちづくり 推進協議会を設立



和牛繁殖農家が子牛を出荷している薩摩中央家畜市場の子牛セリ市価格は、平成24年は全国3位でしたが、その後も堅調な価格で推移し、平成25年も11月までに7回日本一になるなど全国トップレベルの成績を維持しています。セリ市への県外からの参加者も増え、12月には、同市場の過去最高値を更新しました。

Satsuma sendai topics 10

薩摩中央家畜市場の子牛取引平均価格が全国上位